

事業所名

チャイルドハート小倉アイリス

支援プログラム

作成日

6年

11月

1日

法人（事業所）理念		子どもの声に耳を傾け、子どもとスタッフが笑顔で関わり、健やかな毎日を過ごすための療育を行う。					
支援方針		子ども同士のコミュニケーションや協力を促し、社会的スキルを育てる。 子どもの情緒面での安定を図るために、リラクゼーション活動を提供し、子どもたちが安心して過ごせる環境を整えて支援を行う。					
営業時間		10時	0分	19時	0分	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	健康な心と身体を育て、自ら安心して安全な生活を作り出す事を支援する。また、健康状態を常にチェックし必要な対応を行う。その際、意思表示が困難な子どもがいる場合は発達の過程、特性等に配慮し、小さなサインから心身の異変に気付けるよう、細やかに様子観察を行う。利用中に体調の変化がある場合には適切な対応を行う。（保護者への状況の報告） マインドフルネスの時間を設け、静かな環境で過ごし心の落ち着きを得られるように関わる。					
	運動・感覚	姿勢と運動・動作の向上を図り、子どもの発達段階、特性に配慮した視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるような遊びを取り入れて支援を行う。また、定期的なトランポリン教室でのレッスンを通して、身体の各部分の協調性やバランス感覚、心肺機能を鍛えていく。					
	認知・行動	空間・時間・数等の概念形成の習得を図る。視覚・聴覚・触覚等の感覚を十分活用し、必要な情報を収集して認知機能の発達を促すために、制作活動や身体遊びを学習プログラムとして取り入れている。 事業所におけるルールを日課にするために、可視化する。内容を掲示し（発達段階に応じた）具体的な声掛け、実際に手本を示す、などの支援を行う。					
	言語 コミュニケーション	子どもの発達段階に応じた話し言葉や各種の文字・記号等を用いて、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたり、言語を受容し、表出する支援を行う。また花札・トランプ・すごろくなどのゲームを活用する。花札はルールが簡単なため参加しやすい。複数人でプレイする事で対戦相手とのやり取りを通して、友達やスタッフとの自然な会話の中で、コミュニケーションスキルが高まるように関わる。得点計算やルールの確認を通して社会的なスキルや協力する力が育ように促す。絵柄やゲームを通して日本の文化や歴史について学ぶ良い機会とする。					
	人間関係 社会性	集団活動へ参加支援を行う。子どもの発達段階や特性に応じた環境調整、関わり方の提案を行い、子ども自らが自発的に集団に参加し、手順やルールなどを理解し、遊びや集団活動に参加できるように支援する。 多様な経験を積み重ね（外出・公共施設・公共交通機関の利用など）、様々な人との交流を通して協力する力や社会的なスキルが養えるように支援します。					
家族支援		子どもに関する情報の提供と定期的な支援調整、子どもについての相談や心配事を受け入れ、その後の支援を行う。			移行支援		入学、進学、就職時などに新しい環境で必要となるスキルを教え、新しい学校の先生や同級生との関係構築を支援し、安心して新生活に移行できるように支援する。
地域支援・地域連携		定期的に公共施設を利用する。モノレールや電車の切符の買い方や、乗車中のルールやマナーなどを学び社会性を身に付ける。またモノレールや電車は時間通りに運行するため、発車時刻にホームにいないと乗れないという事を伝える。			職員の質の向上		研修等に積極的に参加し、事務所で伝達研修や情報共有を行い、スタッフのスキルアップを図っています。些細な子どもの変化などをスタッフ同士で情報交換し、自分では気づけなかった変化などに気付けるように情報共有を行う。

主な行事等

運動, 体育館, トランポリン教室, 花札, 田植え, 稲刈り, 外出 (公共交通機関利用、切符の購入), キッチン (献立決め、役割分担) 買い物 (予算内での材料購入), 地域イベントの参加
アウトドア教室 (フル装備での川遊び等)